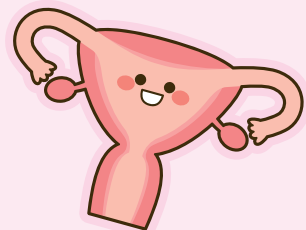
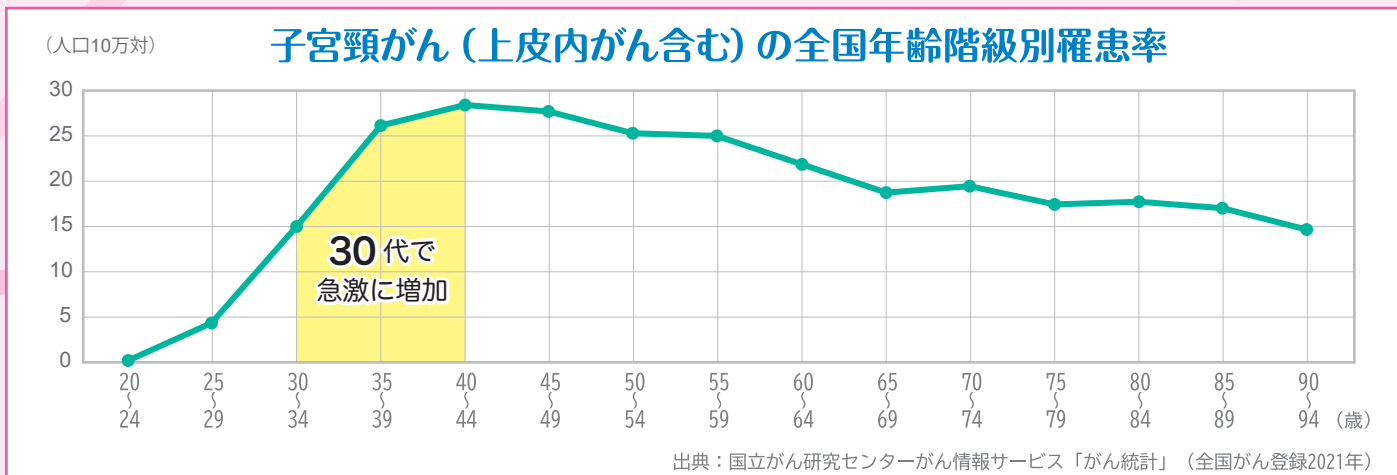


# 子宮頸がん検診 を受けていますか？



■子宮頸がんは30代で急増しています。

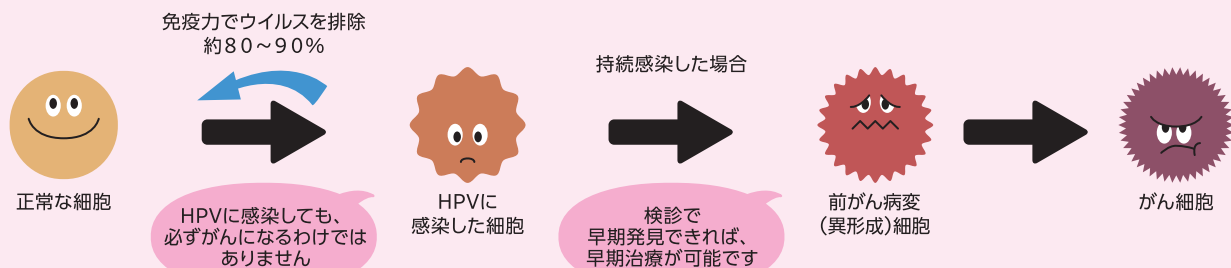


■性交経験のある人の多くが生涯に一度はHPVに感染します。

ほとんどは、自然免疫で排除されますが、持続的に感染した一部ががんとなります。

■初期では自覚症状がないことがほとんどです。定期的に検診を受けることが重要です。

## 子宮頸がん発生の流れ



## 志木市では子宮頸がんHPV検診を導入しています

■なぜHPV検診を導入したの？

- ・HPV検診は、子宮頸がんの罹患率を減少させることが科学的に証明された有効な検診として、国が推奨しています。
- ・検診技術の向上により、検診は5年に1回で十分な検査結果が得られるようになりました。
- ・受診間隔が5年になったことで、受診者の負担が軽減されます。

■HPV検査とは？

子宮頸部の細胞が、がんの原因ウイルス(HPV:ヒトパピローマウイルス)に感染しているかを調べる検査です。

■どんな検査なの？

医師が子宮の入り口(頸部)を専用のブラシやヘラでこすって細胞を採取します。

■対象者は？

原則、志木市在住の30,35,40,45,50,55,60歳の女性。

詳細はホームページをご覧ください。



子宮頸がん検診  
について

## 子宮頸がん検診対象外となる方

- 子宮の疾患で治療中、経過観察中の方
- 治療等により、すでに子宮を全て摘出されている方
- 検診当日に生理中の方
- 不正出血など、自覚症状がある方
- 妊娠中又はその可能性のある方
- 性交経験が一度もない方

心配な症状がある場合は、  
検診ではなく婦人科を  
受診しましょう。





# 検診は定期的に受診しましょう。

どうやって検診を受けるの？



Step1

「個別検診」か「集団検診」かを選ぶ

Step2

申し込む

個別検診

■各医療機関に直接お申込みください  
※医療機関一覧の子宮(HPV検診)を参照



医療機関一覧

集団検診

■受診希望日を決め、電話またはWebでお申込みください。



集団検診について

Step3

医療機関または検診会場で受診する

受診券必須

個別検診

■費用700円

集団検診

■費用600円

Step4

医療機関または結果説明会で結果を受け取る

## 次回受診時期と検査内容について

次回受診時期と検査内容は、検査結果によって異なります。HPV検査が陰性（-）だった場合は「5年に1度」の検診です。

| HPV検査  | 細胞診検査<br>※HPV検査(+)の場合、自動的に行われます。 | 次回受診時期と検査内容  |
|--------|----------------------------------|--|
| 陽性 (+) | 異常あり                             | 速やかに婦人科で詳しい検査を受けてください。(精密検査)   |
| 陽性 (+) | 異常なし                             | 1年後に必ずHPV検査を受けてください。(追跡精検)※受診券を送付します。  |
| 陰性 (-) | 実施しません                           | 原則5年後の対象年齢時にHPV検査を受けてください。※追跡精検等で変わる場合があります。60歳の方がHPV検査を受診し、陰性(-)だった場合は、次回は2年後に細胞診検査を受診できます。 |

検診や検査では見つけにくいがんもありますので、すべてのがんや前がん病変が見つかるわけではありません。また、がんや前がん病変でなくても「精密検査」や「追跡精検」と判定されることもあります。受診年齢、受診間隔、検診結果にそった検査の受診を守り、相談できるかかりつけ医を持つことがもっとも重要です。

問合せ先

志木市健康政策課健(検)診・保健事業グループ

電話:048-456-5370 (平日8:45~16:30)

メール:kenkou-seisaku@city.shiki.lg.jp